



福岡工業大学硬式野球部 キャンプを激励

福岡工業大学硬式野球部による春季キャンプが2月22日から6日間の日程で市営野球場で行われました。キャンプ初日の2月22日には、激励を込めて市と市議会、市内企業・団体から特産品などが贈られました。



第29回老人クラブ芸能大会

2月26日、市民会館で開催されました。市内の老人クラブから13団体が出場し、踊りや歌、体操などさまざまな演技を元気に披露しました。



健康づくり講演会

2月28日、健康センターで開催されました。講師の本市出身で、桜美林大学の阿久根英明教授が「足下から健康を考える」と題し、講演を行いました。



在宅医療推進市民講座

3月7日、地場センターで開催されました。講師の産業医科大学の松田晋也教授が「地域包括ケアの考え方」と題し、地域包括ケアシステムの必要性などについて話しました。



枕崎鰹節を好きになってね ～枕崎青鯨会食育活動

鰹節業者の若手で構成される枕崎青鯨会による食育活動が、3月9日に富士保育園で実施されました。

同会は、子どもたちに枕崎鰹節の素晴らしさとおいしさを知ってもらい、郷土を愛する子どもに育ってほしいと思いを込め、年に数回、保育園や小学校で活動を行っています。

当日は、同会メンバー15人が園児約30人に鰹節の作り方や削り方を教えました。

久保智英会長は「子どもたちに鰹節をはじめ、たくさんの食があることをPRしていきたい。子どもたちに教えるながら自分たちも一緒になって勉強していきたい」と話していました。



100歳おめでとうございます ～畠野ウミさん（山手町）

畠野ウミさんが、3月7日にめでたく100歳の誕生日を迎えられ、市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

畠野さんは、85歳頃まで生け花をされており、以前は本市の勤労青少年ホームで講師を務められていました。甘いものが好きで、近所のケーキ屋でお友達と話しながらケーキを食べることが楽しみだそうです。

クイズ番組やミステリードラマが好きで、分からないことなどは辞典や本などで調べ、日頃から脳を動かすように心がけていることが長寿の秘訣だそうです。

これからも元気で長生きしてください。

50%海苔巻き作りにチャレンジ ～まくらざき春の市

まくらざき春の市が3月15日、枕崎漁港内港の水揚げ場一帯で開催され、市内外から多くの人でにぎわいました。会場には南薩の特産品販売を中心に多くの店が並び、来場者は新鮮な海の幸・山の幸を買い求めたり、枕崎鰹大トロ丼などのグルメを楽しんでいました。

当日は、市内小学校6年生の卒業記念イベントとして50%の海苔巻き作りがあり、完成した海苔巻きは、多くの来場者に振る舞われました。豊留穂乃佳さん(枕崎小6年)は「巻くのがとても難しかったけど、みんなで協力しながら作ることができていい思い出になりました」と話してくれました。



野球を基本から学ぶ ～鹿児島相互信用金庫野球部による野球教室

3月7日、市営野球場で鹿児島相互信用金庫野球部による野球教室が開催され、市内小中学校の球児たち約100人が参加しました。

参加した球児たちは、キャッチボールやティーバッティングなどの基本から守備における各ポジションでの動きなど細やかな指導をうけました。

土本晟汰くん(別府小6年)は「すごく勉強になりました。これからはいい結果が残せるように、今日学んだことをもとに家でもしっかり自主練習を頑張りたいです」と話してくれました。



ほっとホット フォトニユース



「鰹節の森」づくりに汗を流す ～「鰹節の森」づくり活動

2月21日、桜山本町の森林で「鰹節の森」づくり活動が行われ、地元住民や鰹節製造業関係者など約100人が参加しました。

この活動は、鰹節作りに必要な薪を生産する森林を「鰹節の森」として森林整備を促進するため、鰹節製造業者や森林づくり活動に取り組む「海幸山幸の会」などが主催となり、昨年からは行われています。

岩下愛希羅くん(桜山小5年)は「木が大きくなってきれいな森になってほしいです」と話してくれました。



桜山小児童がしいたけ種駒打ちを体験 ～森林・林業体験学習

2月24日、桜山小学校で同校3年の児童がしいたけの種駒打ちを体験しました。これは、県の主催によるもので、体験を通じて森林の多様な働きや森の恵み(生産物)の一つとしてしいたけがあることを理解してもらうことなどを目的に実施されたものです。児童は南薩地域振興局や市農政課職員の指導のもと、ドリルで木に穴をあけ、種駒を打ち込む作業を体験しました。

籠原舞さんは「初めての体験で楽しかったです。しいたけが大きく育ってほしいです」と話してくれました。

※記載されている学年は、開催当時の学年です。